

●編集顧問／牧野永城、菅原克彦、阿部令彦、出月康夫、武藤輝一、田島知郎、萩原 優、北島政樹、炭山嘉伸

●編集委員／跡見 裕、畠山勝義、桑野博行、宮崎 勝、島津元秀、渡邊聡明

●編集同人／佐野圭司、近藤芳夫、阪口周吉、鈴木章夫、秋山 洋、塩谷信幸、諏訪邦夫、岡崎春雄、松元輝夫、折田薫三、細田泰之

消化器癌に対する癌化学療法は、癌の外科切除にあたる外科医にとって、20～30 年余り以前においては血液系および婦人科系などの癌種に対するものと比較してその効果をそれほどに期待していなかった、というのが当時の率直な実感であったであろう。しかしながら癌化学療法を専門として研究を続けてこられた消化器系の多くの方々の努力の結果、また新たな有効な新薬の登場によって消化器系の癌腫にもきわめて高い効果が示されるようになり、その効果が多くの現場の臨床医にも実感できるほどになってきたのが現状である。一方で、わが国の消化器外科の手術レベルは国際的にトップレベルに達しており、その手術技術が日々さらに進化しているのは疑いのないところである。このような状況のなかで、特に進行癌に対して化学療法と外科切除療法を双方で競い合わせその治療成績を向上させるのも有益な方向性ではあるが、当然ながら未だ外科切除が多くの消化器癌治療においては根治性が得られる唯一の治療方法であることを忘れず、進歩する消化器癌の化学療法を外科切除療法の成績向上のためにうまく利用していくことが重要であろうと思われる。上手な組み合わせを検討することにより外科切除後の成績を向上させられるばかりではなく、外科切除適応の拡大にも展開することが可能になってきている。これからは、消化器外科医の治療戦略においてもこのように進化する癌化学療法の効果をいかに巧く外科切除に hybrid させられるかが成績向上の鍵となるように思われる。

本号では、様々な消化器癌におけるそうした新たな取り組みの成果について、各領域での high-volume 施設で積極的展開を実施している方々から新規性の高い貴重なデータを報告していただいた。読者の方々も、本特集からこれからの消化器癌治療における新たな外科の役割を興味深く読みとっていただけるものと確信している。

(宮崎 勝)

臨床外科 (第 65 巻 第 4 号)

発 行 株式会社 医学書院
代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
☎ 社内案内 (03) 3817-5600
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
振替口座 00170-9-96693 番

2010 年 4 月 20 日発行 (毎月 1 回 20 日発行)

定価 2,730 円 (本体 2,600 円 + 税 5%)

〔 2010 年年ぎめ予約購読料 40,160 円
電子ジャーナル閲覧オプション付 52,200 円
増刊号を含む 13 冊、税込、送料小社負担 〕

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5708
ファクシミリ (03) 3815-7802
E-mail : ringe@igaku-shoin.co.jp
担 当 田村・阿部・安部
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 日本医学広告社 電話 (03) 5226-2791

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ **JCOPY** (株)出版者著作権管理機構 委託出版物)
本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- ・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- ・ 「臨床外科」ホームページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringe/> です。